



青いランドセル



こぐまじゅんこ

これは、私が小学校に入学するときの話だ。

4月になったら、私は小学校1年生になる。3月のはじめ、おじいちゃんとおばあちゃんが、ランドセルを贈ってくれた。

おかあさんが、小学生の頃は、男の子は、黒で、女の子は赤色と決まっていたらしい。

私は、青色が好きだ。空を見上げると、いつも私は心がほっとする。夏に、沖縄の海をみてきたんだけど、目の前に広がる透き通るような青色にすいこまれそうになった。青色は、身近にあるけど、手の届かないはるかな色なんだ。

だから、おじいちゃんとおばあちゃんが、青色のランドセルをプレゼントしてくれたことが、とびきりうれしかった。箱からとりだして、ランドセルを背負うと、部屋の中をぐるぐるまわった。

4月の入学式が待ち遠しくて、私はいつもランドセルをながめていた。

やっと、待ちに待った入学式の日がきた。

小学校の門をくぐると、桜の花が満開だった。

はらはらとこぼれおちる花びらはハート型で、私は、うきうきした。

私の青いランドセルに、ハート型の花びらが数枚くっついた。

若い女の先生が、

「お空に桜が咲いたみたいね。」

と言って、ほほえんだ。

私は、空を見上げた。

桜の木の間から、青い空がのぞいていた。

私は、この光景をずっと忘れない、と思った。